

クラブライフが心とからだと暮らしを変える



CHANGE SPORTS LIFE

富山スポーツコミュニケーションズ (TSC)からのメッセージ

●スポーツ本来の意味

語源はラテン語の“deportare”から始まります。意味は日常から一時的に離れる、すなわち、気晴らしをする、休養する、楽しむ、遊ぶなどでした。14世紀イギリス人が“disport”として使用、16世紀に短縮され現在のsportとなりましたが、日本では富国強兵をスローガンに「体育」という言葉に置き換わり、企業や学校部活動による大会実績などの結果が重視されてきました。日本独自の効果は生んだものの、スポーツを「する人」=「運動の得意な人」、「しない人」=「運動の苦手な人」の2極化を生みました。人間の心身に良い影響を与えるスポーツを楽しむチャンスはすべての人々になくてはなりません。

●今スポーツしないと日本が危ない

戦後急成長を遂げた日本。物こそ豊かになりましたが、気がつけば環境・医療・教育・平和問題や、増加する自殺・不登校・ニート・薬物乱用、ストレスが引き金となる様々な現代病など、経済発展への代償のように、多くの社会問題を抱えることとなりました。明治時代にスポーツを西洋から輸入以後、豊かなスポーツライフを確立していくれば、軽減できたのではと推察します。

22世紀に向け、今こそスポーツを再認識し、コミュニケーション活動から育まれる、引き出し豊かな「判断力」獲得を目指す人間形成こそ、日本だけでなく世界の諸課題に向かうソリューション(解決策)となります。

●遊びによる人材・環境整備の重要性

遊び=playには自発的な判断力が伴います。集団でゲームに勝つためにも組織内での「個」の判断力が不可欠です。さらに相手や審判と交流することで、多様な価値観をリスペクト(尊重)する習慣やスポーツmanshipが身につき、社会活動における豊かな発想力・判断力を培うことなどが可能です。

現在、戸外で異年齢間による「遊び風景」があまり見られなくなり、スポーツ(=遊び方)を知らないまま諸課題に直面し、苦悩するケースも少なくありません。バランス感覚豊かな判断力を要求される社会において、遊びから生き生きと学び、気づくことのできるスポーツ環境整備が重要です。

●TSCの追求する「5C」

TSCは上記の観点からスポーツによる5つの「C」を精悍に推進していきます。

- ①Communication…スポーツで人と接する機会を増やし判断力を育てる
- ②Club…競技志向の「チーム」だけでなく、コミュニケーション志向の「クラブ」へ
- ③Change…変わらないものを尊重し、自分自身や地域社会をより良く変える勇気を育む
- ④Challenge…常にスポーツmanshipを携帯し、課題に挑戦し続ける
- ⑤Create…スポーツで豊かな心・空間を創造する

C L U B M A N A G E M E N T

TSCが提唱するこれからのスポーツ環境 ——チームマネジメントからクラブマネジメントへ

これまでの「ピラミッド型スポーツ」

日本を代表する競技力の高い選手やチーム育成のため、草の根からボトムアップするピラミッド型システム



TSCの「する」だけではない 「スポーツの楽しみ方」

人材育成・交流

スポーツマネジャー・コーチ養成、社会人研修などを目的とした人材育成プロジェクトを準備しています。また、TSC各種イベントやスポーツ大会運営参加などによる異ジャンルとの交流、ご支援いただいたいるスポンサーを対象としたパーティーなどを通じて、交流を深めスポーツmanshipを高めます。



すばまぐ@富山SNS

毎週送られるコラムと会員同士の相互交流を図るSNSで構成されています。WEBでスポーツを見る」「読む」「語る」というツールを活用し、より深くスポーツの魅力を知ることができます。イベント情報もあり、参加状況の確認・申し込みも可能です。まずは<http://sns.spomag.net/>でご確認ください。そこからスポーツの「扉」が開けます!



スポーツ観戦お出かけ支援募金

富山県共同募金会との協働事業としてスタート。スポーツ会場などで募金を原資にし、福祉施設の方々をスポーツ観戦にご招待する事業です。生活環境の違い、障害の有無による壁をスポーツ観戦が取り払う…皆様のささやかな募金でスポーツと福祉の親和性を高めます。



スポーツ支援自販機設置

北陸ペプシコーラ販売株式会社との協働事業です。みなさまのご紹介、ご協力を得ることで自販機を設置することができます。飲料購入によって、特定のスポーツクラブに偏ることなく県内スポーツを広く支援します。NPOが長期ビジョンで行うことで事業の信頼性、継続性、透明性を高めます。

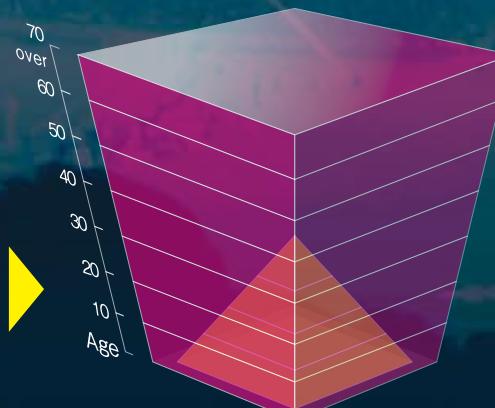


観戦ナビゲーション

県内外のスポーツ会場で観客に専門家による観戦視点サービスを行います。県内プロスポーツホームゲームに限らず、すべての年代、ジャンルのスポーツにおいて観る楽しさを伝えることが可能になり、普及させていく効果があります。

スポーツ観戦ツアー(Jリーグなど)

県内プロクラブ誕生により、ますます脚光を浴びるスポーツ観戦文化。国内ビッグクラブを中心にホームスタジアムの在り方や、熱狂サポーターの「クラブへの想い」を肌で感じていただけます。バスの中でのコミュニケーションも楽しみの一つです。



TSCの目指す「逆台形型」 クラブマネジメント

クラブマーケットの視点から、多様なレベル・頻度に対応し、飲食などで集える空間づくり、クラブマネジャー、ボランティア、施設管理など地域に潜在する「人材活用」により、クラブへの参画意識を促し、豊かなコミュニティを創造します。クラブ会員を増やすことで、クラブ経営を安定したものにし、街づくりや雇用促進などにも貢献します。





スポーツの「楽しさ」を 体感できる事業



クラブハウス 公園再生構想

スポーツの前後、楽しみながら人をコミュニケーションでつなぐ方法の一つとして「飲食」があげられます。その時間・スペースの確保には、既存の公園を地域住民の手で集いやすい空間に再生させることや、地域、クラブ会員間の合意形



成でつくられる、クラブハウス構想が重要になります。これはチームマネジメントからクラブマネジメントにシフトチェンジするTSCの最終ゴールです。

日常からの離脱、楽しむスクール事業

●サッカースクール

①U12

人間の運動神経は8歳から12歳頃(ゴールデンエイジ)に最も成長します。この年代では将来の基礎となる運動神経回路の発達に重点を置き、サッカーを通して多面的な神経刺激を楽しみながら行います。大学生年代などのコーチ陣と一緒に生き生きと挑戦し、笑顔に満ちたスクールを提供します。



②U15

中学生に当たるこの年代では自我が芽生え始め、心もからだも少し不安定になります。日本では学校部活動がスタートしますが、子どもの減少に伴い教職員数も減り、顧問の高齢化や学校規模などによって部活動に大きな格差が生じています。中学生年代にとって地域にサッカースクールがあることで、教育現場の課題を補い、重要な成長期を支えます。U18スクールにも参加でき、進学情報など、貴重な時を高校生と共有することもできます。



③U18

自己欲求が高まり、成長のピークを迎えます。学校部活動では「他のスポーツがしてみたい」「気の合う仲間と不定期に楽しみたい」「スポーツで新しい仲間を作りたい」など青年期の積極的なニーズに対応できないのが現状です。生涯の基礎となるからだと心を培うため、多様なスポーツができる環境が重要になります。また、大学生や年下の子供たちと異年齢間でサッカーすることで、コミュニケーションエリアが広がります。そして自身が必要とされる存在であることを認識することで、さらに成長し、社会性が身についていきます。

④大人・女性

女性の社会参画、若者の自立、高齢化社会…を迎えるにあたり、心身の健康維持、ストレス予防が求められています。無理なく楽しめるサッカーにより、新しい出会い、コミュニティを形成し、積極的な自己コントロールの場とすることができます。一人で悩まず心のつながりを楽しみましょう!

⑤ゴールキーパー

日本サッカーではコーチングが不足している分野です。ドイツでは運動能力の優れた人からキーパーを選びます。また、少年期にあらゆるポジションを経験することで運動神経の発達、総合的判断力の向上につながります。

●パワーヨガ教室



心の内面から汗をかき、一日のストレスから解放されるひとときは爽快感を生みます。ダイエットしながら、からだのゆがみも整えることから、競技選手も多く取り入れています。

⑥レフリー

スポーツはルールと審判、相手を尊重することで、スポーツマンシップを育みます。公平にジャッジする力(判断力)は、社会に出ても大きく役立ちます。また、国内でも審判はプロとして育成されるようになった今、貴重なスクールです。

●スポーツを知ろう

国内ではまだまだスポーツを良く理解できていないのでは。スポーツの意義を熟知するため、公園などを活用したスポーツ体験&バーベキュー・スポーツ観戦などを通じたコミュニティを拓げていきます。すばまぐ@富山SNSをうまく利用しながら、世界をスタンダードとしたスポーツ情報収集による教養を!

予定

- ソフトボール・野球・ウインタースポーツ・球技スーパー運動神経開発スクールなど
- 大人のスポーツ(ジャンルは月または週替わりメニュー)

MISSION

ミッション



「クラブライフが心とからだと暮らしを変える」をモットーに、スポーツを「する・見る・話す・働く・支える」喜びを感じることができ、自ら楽しみ、夢を育むことに貢献します。

VISION

ビジョン

●スポーツによって生きがいある社会、のびのびと過ごせる環境を提供します。

お互いが人として尊重し合えるスポーツmanshipを広く提唱し、すべての年齢層がスポーツを通じた生きがいを得られる環境を作ります。少子高齢化や核家族化が進行する社会にあって、中・高齢者の余暇充実と健康増進、子供の心身の教育に寄与します。また青少年が身近に「夢」を持ってスポーツ活動に取り組むことを可能にし、支えあいながら克服する素晴らしさを体感できるようにします。

●富山に誕生したスポーツクラブを支援することによって、子供から大人まで県民に夢と感動を与えます。

夢を語れる子供、若年層と高齢層との交流の場を増やすため、富山におけるスポーツクラブを支援します。スポーツを「行う」だけでなく、様々な視点による試みを行い、県民全体の一体感を醸成します。それにより地域社会や家族間での共通話題を増やし、全世代に夢を育みます。

●スポーツによって豊かな地域コミュニティの形成を図ります。

様々なスポーツコミュニティを形成することによって、県民全体のコミュニケーション能力向上の場、情報発信源として地域を活性化します。

●スポーツと暮らしを一体化させます。

誰もが気軽にスポーツクラブを楽しめるよう地域住民の手でつくりあげることによって、スポーツを常に「携帯」し、クラブライフを生活の一部とすることを可能にします。

●スポーツによって「元気などやま」を創造し、富山県を大きくアピールします。

全国に誇れる富山を創造するため、スポーツに貢献する人材の育成やプロスポーツクラブの発展に寄与するとともに、「元気で健康などやま」のイメージを全国に伝えます。県内で人材を育て活用することで全国的・世界的なニュースを発信します。

MEMBER'S VOICE

サッカーを生涯続けたい

星槎国際高等学校出身

安川 満

元U18スクール会員

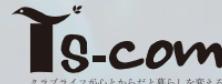


私が通っていた星槎国際高校は、週二日という登校スタイルのため、自分自身のペースでやりたいことを見つけ、いろいろなことにチャレンジすることができる学校でした。「登校日以外の残りの5日をいかに有効活用するか」が大切だと考え、私は高校2年生からこの「富山スポーツコミュニケーションズ」に入会しました。

サッカークラブは以前から挑戦したいと思っていた、高校にはサッカーチームがなかったので、大好きなサッカーを少しあきらめていましたが、このクラブに入って県U-18リーグ戦にも出場することができました。また、たくさんの仲間が増え、友達の輪も広がりました。サッカークラブとアルバイト、学校との両立は大変でしたが、自分が本当に好きでやりたかったことだったので、一生懸命頑張って2年間やり遂げることができ、充実した高校生活を送ることができました。

この春から短大へ進学しましたが、一日も早く学校のスタイルに慣れ、富山スポーツコミュニケーションズへ戻ってきて、生涯サッカーを続けたいと思っています。

ぜひ、皆さんも興味のあることや挑戦したいことを見つけて、実行して欲しいと思います。



特定非営利活動法人

富山スポーツコミュニケーションズ

■事務所／〒930-0818 富山市奥田町12-41-203

電話・FAX 076-439-9277 携帯 090-5176-0075

メール : saeki@toyama-sc.com URL : www.toyama-sc.com

■富山県認証番号／114

■認証年月日／平成17年3月28日

■理事長／佐伯仁史

■組織構成／理事長・理事・アドバイザー・スクールコーチなど若干名

富山 TSC

検索

